



1F デイケアルーム



1F リハビリ室



1F 一般浴室



1F 特殊浴槽



2F 療養室(1人用)



2F 療養室(4人用)



2F ふれあい広場



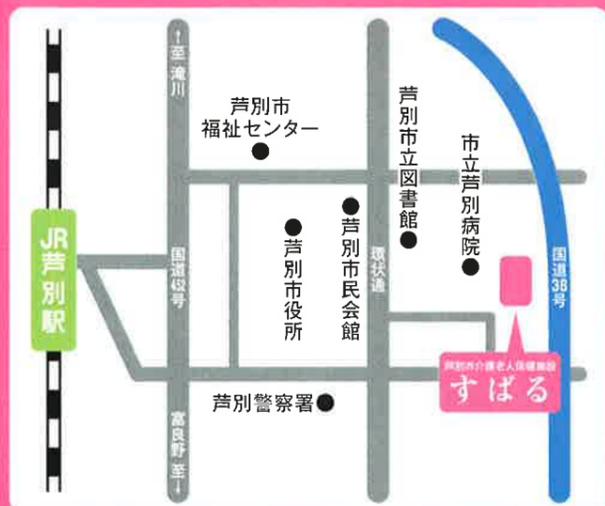
芦別市介護老人保健施設

すばる

芦別市介護老人保健施設
すばる居宅介護支援事業所



芦別市本町14番地
TEL.0124-22-1816 / FAX.0124-22-0006
MAIL.roken-ashibetsu@miracle.ocn.ne.jp



芦別市介護老人保健施設
すばる居宅介護支援事業所

芦別市介護老人保健施設

すばる



介護老人保健施設の役割と機能

これまで介護老人保健施設は、要介護者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とする施設から在宅復帰及び在宅支援のための施設として位置づけられました。生活施設としての特別養護老人ホームとは異なり、要介護者が心身の維持回復を図り、在宅で生活維持できるよう支援していくための役割と機能を持った施設に変わりました。

介護老人保健施設は、介護を必要とする高齢者の自立を支援し、在宅復帰・在宅療養支援を目的に、医師による医学的管理の下、看護・介護といったケアはもとより、理学療法士や作業療法士等によるリハビリテーション、また、栄養管理・食事・入浴などの日常生活サービスまで併せて提供する施設です。利用者様一人一人の状態や目標に合わせたケアサービスを、医師をはじめとする専門のスタッフがを行い、夜間でも安心できる体制を整えています。



◇施設概要

| | |
|------|------------------|
| 名称 | 芦別市保健福祉施設 すばる |
| 所在地 | 芦別市本町14番地 |
| 敷地面積 | 3,899.77㎡ |
| 建築面積 | 4,184.66㎡ |
| 建築構造 | 鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造) |
| | 地下1階、地上2階、塔屋 |
| 着工 | 平成8年8月7日 |
| 完成 | 平成9年9月26日 |
| 開設 | 平成9年11月1日 |
| 総工費 | 1,309,740千円 |

◆介護老人保健施設

| | |
|------|--|
| 施設内容 | 療養室(個室12室、4人用22室) 診察室、食堂、理容室、談話・ 図書コーナー、機能訓練室、 レクリエーションルーム、 デイルーム、休憩コーナー、 ADL訓練室、収納庫、相談室 静養室 |
| 定員 | 入所100人(内20人は別館) 通所53人(通所リハビリテーション) |
| 総床面積 | 3,842.78㎡ |

◆会議室

| | |
|------|--------|
| 施設内容 | 会議室 |
| 総床面積 | 80.16㎡ |

◆リハビリ室

| | |
|------|---------|
| 施設内容 | リハビリルーム |
| 総床面積 | 261.72㎡ |

この施設は、厚生年金積立金・国民年金積立金の還元融資により整備したものです。



基本理念

- 利用者様の意思、人格を尊重し、自立した生活を営むことができるよう支援いたします。
- 利用者様の身体能力、精神能力を高めるようなケア、リハビリに積極的に取り組みます。
- 利用者様の視点に立ったサービスに努め、地域に開かれた施設を目指します。

すべての高齢者等が、その人間性と人権が尊重され、利用者様の立場に立って利用者様がいつでも安心して必要なサービスを利用できるよう支援するとともに、生活機能の向上を目的に集中的なリハビリテーションを行う施設です。また、地域や家庭との結びつきを重視した開かれた施設を目指しています。

この基本理念に基づき、地域包括推進体制の拠点施設として一翼を担う施設として役割を果たしていきます。



芦別市保健福祉施設「すばる」の施設運営について

芦別市社会福祉事業団は、平成10年4月に芦別市が設置する保健福祉施設「すばる」を管理運営する法人として設立され、平成30年度には設立から20年を経過しました。この間、事業団は市と一体となって市民福祉の向上に努めるとともに、平成18年度から介護老人保健施設(入所・短期療養・通所リハビリテーション)、と老人デイサービスセンター(通所介護)の2つの事業を市の指定管理者として受託して施設運営を行ってきたところです。

平成24年度からは、市立芦別病院の空き病床対策と介護老人保健施設待機者の解消を図るため、東病棟に20床を増床して100床で運営を行ってきましたが、稼働率の低下により自立した法人経営が求められ、平成28年度からは「利用料金制度」へ移行し、効率性と採算性を重視した自立した経営を行っています。

また、平成30年7月から市の老人デイサービスセンターの廃止に伴い、通所リハビリテーションの定数拡充を図り、介護老人保健施設としての優位性をいかした施設運営を実施しています。

介護老人保健施設 サービス内容

≫ 入所 ≪

在宅復帰・在宅療養支援を目的に、専門スタッフが病状や障がいの程度に合わせてリハビリテーションやレクリエーション等を医学的管理のもとで行うほか、幅広い趣味活動を通じて楽しい日常生活ができるよう支援します。

施設に入所できる対象者は、病状が安定期にある入院治療を必要としない、各市町村で要介護1~5の認定を受けている方です。なお、在宅復帰・在宅療養支援機能を高めるために、要介護4及び要介護5の認定者の入所も可能です。

≫ 短期入所療養介護(ショートステイ) ≪

家庭で介護されている方が自宅での介護疲れ、冠婚葬祭、旅行などで一時的に介護ができない場合、家族の方に代わりお世話をします。

≫ 通所リハビリテーション ≪

日中、家庭から通いながらリハビリテーション・レクリエーション・食事・入浴・健康チェック等を行い、健康の維持増進を図り、自立した日常生活が送られるよう支援します。医師の指示のもと、専門の理学療法士が中心となり生活に密着したリハビリテーション、脳トレ等を行い、自宅での生活に繋げていけるよう看護師・介護福祉士等の全職種で支援します。施設内は機能訓練ができるリハビリ施設や通年利用できるリハビリ環境が整っています。

すばる居宅介護支援事務所(ケアマネジャー)

■介護保険サービスを利用される方

- 40歳以上で特定疾病により要介護1~要介護5と判定された方。
- 65歳以上で要介護1~要介護5と判定された方。
- 要支援1・2の方についても当事業所は地域包括支援センターと委託契約を結び担当させていただくことが可能です。
- 居宅サービス計画の作成、介護保険の申請代行などのサービスには自己負担は一切ありません。

■それ以外の方

- 現在介護や支援は必要がなく、このまま元気で地域で生活を送りたい方。
- 地域にある介護保険外の資源を利用したい方。(各種ボランティアなど)
- 介護は必要ないが何らかの支援が必要な方。(食事など)
- 介護が必要でこれからの介護保険の申請をしようとしている方。(申請代行可)

お問い合わせ 0124-22-1816(内線108)